

# 令和6年度 「教科の学び」

## 《学校教育目標》

「志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」

「生きる力」の育成：「知力・徳力・体力」の調和のとれた資質・能力

## 《桶川西中での三年間の学び》

中学校学習指導要領が平成29年に告示されました。特に、教科指導については、「知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」」が明示されました。ですから、以前までの学習指導要領の理念（「生きる力」の育成）を基盤としながら、改定要領の趣旨を加味し、本校でもこの新しい学びを視野に入れ、学習指導を展開していくことになります。

さて、「生きる力」を構成する知的側面である「学力」は、3つの要素に定義されます。（学校法30条）

- (1) 「基礎的・基本的な知識や技能」
- (2) 「課題解決のための思考力、判断力、表現力」
- (3) 「主体的に学習に取り組む態度」

従って、本校でも、すべての教科で、この3つの要素を高める指導を展開しており、評価もこの3要素を基準に「3つの観点」で行います。（具体的な評価方法については、各教科のページに記載）

さらに、「学力」の育成のため、新学習指導要領の方向性を共有することになりますが、教科指導において具体的に示されているのは、

- (1) 「何ができるようになるか」
- (2) 「何を学ぶか」
- (3) 「どのように学ぶか」

の3つの視点です。特に、質の高い理解を図るための学習過程の工夫が重要と捉えています。新学習指導要領が令和3年度から全面実施され、生徒の主体的な授業参加の機会が増大すると考えます。

## 《教育課程》

【新学習指導要領】では、各教科・領域の時間数は変わりありません。また、学習内容も削減はありません。

教科・領域	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	1年生	週当たり	2年生	週当たり	3年生	週当たり
国語	140	4	140	4	105	3
社会	105	3	105	3	140	4
数学	140	4	105	3	140	4
理科	105	3	140	4	140	4
音楽	45	1.3	35	1	35	1
美術	45	1.3	35	1	35	1
保健体育	105	3	105	3	105	3
技術家庭	70	2	70	2	35	1
英語	140	4	140	4	140	4
特別な教科である道徳	35	1	35	1	35	1
総合的な学習の時間	50	1.4	70	2	70	2
特別活動	35	1	35	1	35	1

【年間授業時数1015時間、1週間の授業時数29時間】

## 《日々の学び》

本校では、「授業」を重視し、学級・生徒個々に高度な取組を求めています。また、学習内容の確実な定着のための「家庭学習」の充実を進めています。

### (1) 「授業の約束（3つの行動・5つの心構え）」

#### ① 「3つの行動」 ～「思考力・判断力・表現力を伸ばそう」～

- ア 思考
- イ 判断
- ウ 表現

「学力」の要素の内の1つで、現行学習指導要領で重視。  
高校入試ではすでに出題、大学入試でも、思考した内容を記述する問題が出題されます。（令和2年より）

#### ② 「授業の5つの心構え」 ～「進んで学び、自らを向上させよう」～

- 一、2分前着席をしよう
- 二、大きな声であいさつをしよう
- 三、意欲的に取り組もう
- 四、自分の考えを表現しよう
- 五、準備をしてから休み時間にしよう

中学校の学習内容は、より専門的になるので「学びがい」があります。「高い山ほど、裾野は広い」のとおり、自分の得意分野・教科を伸ばすためには、全教科の学習に万遍なく取り組むこと、能動的な取組姿勢も必要となります。授業は教科ごとに担当教師が替わり、小学校に比べて進み方も速くなります。

また、中学校の学びは、進路選択が控えています。3年間の学習成果を「進路実現」として、開花させることが求められているといえるかもしれません。ですから「進路学習は1年生から」を合言葉に、系統的な学び、計画的な学びを1年生から実践していきましょう。

そこで、

- ① 授業をしっかりと受けるために、「授業の約束」を守り、きちんとした態度で授業を受けましょう。授業に向かう姿勢と気持ちをつくるのが大切です。
- ② 漠然と授業を受けているだけでは本当の学力はつきません。担当の先生の話は顔をあげて、よく聞きましょう。本校では、「話は目で聴く」と指導しています。
- ③ ノートは黒板に書かれたことをただ写すだけではなく、先生が何回も繰り返して説明している大切な所も書き留めましょう。
- ④ 配られたプリントは【ファイルに綴じる】【ノートに貼る】などして教科ごとに整理し、わかりやすく保存しておきましょう。
- ⑤ 宿題や提出物は期限を守って、忘れずに提出しましょう。
- ⑥ その日、授業で習ったこと、わからなかったことは授業後に先生や友達に聞いて、その日のうちに理解しましょう。次の日に持ち越さないことが大切です。
- ⑦ 5教科も重要、技能教科（音楽、美術、体育、技術・家庭科）も重要。忘れ物をせず、歌い、走り、作品を制作することは、【思考力】【表現力】の向上につながるのです。全ての教科に誠実に取組みましょう。

### (2) 「家庭学習」

#### ① 学習時間の目安

学習時間＝学年＋1時間

（1年生は、2時間。2年生は、3時間。3年生は、4時間です。）

#### ② 学習の進めかた

- ・学習を始める時刻を決める  
（毎日同じ時刻に勉強を始めることで、学習習慣が身に付きます。）
- ・学習内容を決める  
（繰り返しの読み書き ⇒ 覚える）  
（教科書ノートを振り返る ⇒ まとめ理解する）  
（ワークなど ⇒ 問題を解けるようにする）

- ア 学習する環境を整える。  
学習の妨げになるような物は周囲に置かない。『使わない』『視界にいれない』
- イ 家庭学習の目標を決める。(まず宿題・課題。次に、自主学習)  
家庭学習が自主学習の始まりです。西中では「家庭学習ノート」の取組をしているので、今日1日の学習を決め、遂行しましょう。
- ウ 提出物は期限を守って出せるように計画的に取り組む。  
提出物は、自分の学習成果の再確認となります。また、成績にも連動します。
- エ 学習前後に娯楽性の高い時間(電子端末の利用など)があると『学習の記憶』よりも『楽しい記憶』の方が上回ることがあるので、気を付けましょう。

### (3) 定期テスト など

#### ① 定期テスト (予定)

- ・ 1学期：中間テスト (5教科)                      期末テスト (全教科)
- ・ 2学期：中間テスト (5教科)                      期末テスト (全教科)
- ・ 3学期：学年末テスト (全教科)

- ア 日頃の授業内容が出題範囲です。  
定期テストは2週間前に「範囲表」と「テスト取組表」を配付します。  
毎日の授業の復習を欠かさず、継続的に行うことが重要です。
- イ テスト後は個表が返却されます。  
【得点】【平均点】【全体順位】を参考に、自己分析し、次の目標設定に役立てます。
- ウ テスト後の見直しは、とても効果があります。  
(問題用紙は、各自ファイルなどに整理)  
(テスト後の授業で、先生方が問題の解説)  
(自分の学習「得意・不得意」の把握)
- エ 欠席の場合は後日、テストを受けることとなります。得点は参考点となります。

#### ② 校内実力テスト (5教科) (時期は令和4年度のもの)

- ・ 1, 2年生    2回 (4月、10月)
- ・ 3年生        2回 (4月、11月) + 南部校長会テスト    3回 (8月、10月、1月)

#### ③ 長期休業後の確認テスト

- ・ 1, 2年 (8月、1月) : 夏休み、冬休みの課題の定着度を測ります。

#### ④ 各教科の小テスト    学習内容の確実な定着のために教科担任が独自に実施します。

- ア 校内実力テストは有償です。教材費から支払い、体調不良等で欠席した場合は返金します。
- イ 受験者母集団が多いので、より客観的なデータとして自己分析に役立てることになります。定期テストでは示されない、【標準点・偏差値】が示されます。
- ウ 6か月ごとの自身の結果を把握・振り返り、学習の見直しに役立てます。

#### ⑤ 全国学力・学習状況調査 (科目は令和4年度のもの)

- ・ 3年生    ①国語    ②数学    ③理科    ④質問紙調査

#### ⑥ 埼玉県学力・学習状況調査

- ・ 3年生    ①国語            ②数学            ③英語            ④質問紙調査
- ・ 2年生    ①国語            ②数学            ③英語            ④質問紙調査
- ・ 1年生    ①国語            ②数学                                    ③質問紙調査

- ア 7月の中旬ごろ結果が返送されてきます。各自に個表が配られます。
- イ 文部科学省、埼玉県教育委員会では、都道府県別、市町村別の結果を公表しますので参考にしてください。本校の結果は、分析後12月にホームページに掲載します。

- ⑦ 新体力テスト（5月）
  - ・全学年 50m走、ボール投げ、握力、等
- ⑧ 各種コンクールへの出品
  - ・書写（書道）、美術、発明創意、作文、等多種多様な機会があります。
  - ・授業での作品を出品する場合がありますし、自由応募もあります。
- ⑨ 検定試験
  - ・漢字検定 3回（各学期）担当より募集を行います。個人で直接応募もできます。

これらの他に、受験期には個人で申し込む民間業者のテスト（5教科）もあります

#### （4）評価・評定について

評価・評定は、授業への取り組み状況、作品やレポートの評価、実技、小テスト、定期テスト等を総合的に判断していきます。また、各教科に3つの観点（知識・技能／思考・判断・表現／主体的に取り組む態度）があり、観点は3段階（A・B・C）で示されます。そして、その観点をもとに、評定は5段階（5・4・3・2・1）で示され、学期末に通知表として配布されます。各教科の観点の詳細は以下の表の通りです。授業時に、各教科担当の先生から説明があります。

	観点	観点詳細
国語	知・技	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
	思・判・表	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」において伝え合う力を高め、自分の考えを深めている。
	主体態	積極的に人と関わり、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
社会	知・技	社会的事象に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
	思・判・表	社会的事象について課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して説明したり、それらを基に議論したりしている。
	主体態	社会的事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
数学	知・技	基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けている。
	思・判・表	事象を論理的に考察する力、性質を見だし総合的・発展的に考察する力、事象を数学的に表現する力を身に付けている。
	主体態	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしている。
理科	知・技	自然の事物や現象に関する基本的な原理・法則の知識を身に付け、実験観察の基本操作から結果を記録整理する技能を身に付けている。
	思・判・表	目的意識をもって観察・実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。
	主体態	自然の事物・現象に進んで関わり、事象を人間生活とのかかわりでみようとしている。
音楽	知・技	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識、技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	思・判・表	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、自分なりの意図をもって、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。
	主体態	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
美術	知・技	造形的な視点を理解しながら、表現方法を創意工夫し、作品を創造的に具現化している。
	思・判・表	主題を見極め、豊かな発想で構想を練磨し、また美術文化に対しての認識を深めることができる。
	主体態	創造活動の喜びを味わい、自ら主体的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
体育	知・技	特性や基礎的な内容を理解し、その特性に応じた技能を身に付けている。
	思・判・表	特性に応じた課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自己の考えを表現している。
	主体態	健康・安全に留意し、自主的に取り組んでいる。自己の役割を自覚し、ルールやマナーを守り、活動している。
技家	知・技	生活と技術について理解しているとともに、それらに係わる技能を身につけている。
	思・判・表	生活や社会から問題を見出し、課題を設定し解決策を構想・評価・改善・表現し課題を解決する力を身に付けている。
	主体態	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に取り組み、振り返り改善し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
外国語	知・技	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。外国語の知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。
	思・判・表	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりしている。
	主体態	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【評価の観点】 A：十分満たしている B：おおむね満たしている C：努力を要する

【評定】 5：特に高い程度を満たしている 4：十分満たしている

3：おおむね満たしている 2：努力を要する 1：一層努力を要する

※諸事情により、評価・評定が総合的に判断できない場合は、「観点別学習状況」や「評定欄」に数値を記載せず、「／（斜線）」で示されることがあります。

## (5) 進路選択

【県公立】（出願～学力検査は2～3月）

- ①学力検査 ・5教科（国・社・数・理・英）各50分
- ・一部の高校では、数学と英語で【学校選択問題（高難易度の問題）】が出題
- ②面接、実技 ・一部の高校：配点は高校ごとに異なる

【私立】（1月）

- ①出願の種類（「単願」「併願」）や、希望コースにより多種多様

【県立特別支援学校】（1月）

【就職】（1月）

- ア 入試問題は、ここ数年の特徴として「思考力」「判断・表現」に関する問題の増加があります。記述回答の問題で、「理由、考え方を書きなさい」「説明しなさい」「計算の過程や考えを書きなさい」等の設問で、思考の記述を求めています。（大学入試改革とも連鎖しています）  
埼玉県教育委員会のwebサイトで過去問題や解説等を見ることができます。  
（「埼玉県公立高等学校入学者選抜情報」などで検索）
- イ 志願校決定に向け、各高校（県公立・私立）で行う「説明会」「授業体験会」「部活体験会」「個別面談」に参加することが重要となります。  
目標を持ち、日々の学習に取り組んでいきましょう。

# 国語科の学習方法

## 国語科の目標

1年

- ◇自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- ◇必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- ◇様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2・3年

- ◇自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- ◇様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- ◇目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けるとともに、読書を生活に役立て、自己を向上させようとする態度を育てる。

基礎・基本「読む・書く」の取り組み

- ◇読書に親しみ、筆者の意見や説明文の内容を理解できる。
- ◇古典に慣れ、声に出して楽しく読み味わうことができる。
- ◇これまで学習してきた漢字を読むこと、書くことができる。

## 国語科の学習計画

月	1学年	2学年	3学年
4	「朝のリレー」〈詩〉 「野原はうたう」〈詩〉 ◎声を届ける ◇書き留める／言葉を調べる	「見えないだけ」〈詩〉 「アイスプラネット」〈小説〉 ◎問いを立てながら聞く	「世界はうつくしいと」〈詩〉 「握手」〈小説〉 ◎評価しながら聞く
5	「シンジュン」〈物語〉 ◎情報を的確に聞き取る ◇情報を整理して書こう ・漢字1	「枕草子」〈古典〉 ◇多様な方法で情報を集めよう ・漢字1	「学びて時に之を習ふ」〈漢文〉 ◇文章の種類を選んで書こう ・漢字1
6	・硬筆の練習 「ダイコンは大きな根？」 〈説明文〉 「ちょっと立ち止まって」 〈説明文〉 ◎話の構成を工夫しよう ・文法への扉1 「情報を集めよう」	・硬筆の練習 「クマゼミ増加の原因を探る」 〈報告〉 ◎魅力的な提案をしよう ・文法への扉1 ・メディアを比べよう 「『自分で考える時間』をもとう」	・硬筆の練習 「作られた『物語』を超えて」 〈論説〉 ◎説得力のある構成を考えよう ・文法への扉1 ・実用的な文章を読もう 「報道文を比較して読もう」
7	「詩の世界」〈詩・解説〉 「比喩で広がる言葉の世界」	「短歌に親しむ」〈短歌・解説〉 「短歌を味わう」	「俳句の可能性」〈俳句・解説〉 「俳句を味わう」
8	・言葉1 「言葉を集めよう」 「本の中の中学生」〈読書〉 「本との出会い」	「言葉の力」〈随筆〉 ・言葉1 「言葉を比べよう」 「翻訳作品を読み比べよう」 〈読書〉	「言葉を選ぼう」 ・言葉1 「『私の一冊』を探しに行こう」 〈読書〉
9	「大人になれなかった 弟たちに……」〈物語〉 「星の花が降るころに」〈物語〉 ◎聞き上手になろう ◇項目を立てて書こう ・言葉2 ・漢字2	「盆土産」〈小説〉 「字のないはがき」〈随筆〉 ◎聞き上手になろう ◇表現を工夫して書こう ・言葉2 ・漢字2	「挨拶一原爆の写真によせて」 〈詩〉 「故郷」〈小説〉 ◎聞き上手になろう ◇論理の展開を整える ・言葉2 ・漢字2
10	「『言葉』をもつ鳥、 シジュウカラ」〈記録文〉 ◇根拠を示して説明しよう ◎話題や展開を捉えて話し 合おう 「大阿蘇」〈詩〉	「モアイは語る」〈論説〉 ◇根拠の適切さを考えて書こう ◎立場を尊重して話し合おう 「月夜の浜辺」〈詩〉	「人工知能との未来」〈論説〉 「人間と人工知能と創造性」 〈論説〉 ◇多角的に分析して書こう ◎合意形成に向けて話し合おう 「初恋」〈詩〉
11	「いろは歌」〈古典〉 「蓬萊の玉の枝 竹取物語」 〈古典〉 「今に生きる言葉」〈漢文〉	「平家物語」〈古典〉 「扇的」〈古典〉 「仁和寺にある法師」〈古典〉	「古今和歌集 仮名序」〈古典〉 「君待つと」〈古典〉 「夏草」〈古典〉
12	・書きぞめの練習 「『不便』の価値を見つめ直す」 〈意見文〉 ◇助言を自分の文章に生かそう	・書きぞめの練習 「漢詩の風景」〈漢詩〉 「君は『最後の晩餐』を知っているか」〈評論〉	・書きぞめの練習 「誰かの代わりに」〈論説〉 ◇情報を読み取って 文章を書こう

	「考える人になろう」〈読書〉 ・文法への扉2	◇魅力を効果的に伝えよう 「研究の現場によろこそ」〈読書〉 ・文法への扉2	・漢字3 ・文法への扉2 「本は世界への扉」〈読書〉
1	「少年の日の思い出」〈小説〉 ・文法への扉3	「走れメロス」〈小説〉 ・文法への扉3	「温かいスープ」〈随筆〉
2	「随筆二編」〈随筆〉 ◇構成や描写を工夫して書こう ・言葉3 ・漢字3	◇構成や展開を工夫して書こう ・言葉3 ・漢字3	「わたしを束ねないで」〈詩〉
3	◎◇一年間の学びを振り返ろう 「さくらの はなびら」〈詩〉	◎◇国語の学びを振り返ろう 「木」〈詩〉	◎◇三年間の歩みを振り返ろう

◎：話す・聞く活動

◇：書く活動

## 国語科の評価の方法

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	☆文字・語句・文・文章や、漢字の読み書きを正しく理解している。 ☆情報を収集し、整理し、わかりやすい文章が書ける。 ☆書写では、文字を正しく整えて、書くことができる。	☆相手や目的に応じて、筋道を立てて話すことができる。 ☆人の話を的確に聞くことができる。 ☆相手や目的に応じて、筋道を立てて文章を書くことができる。 ☆目的に応じて読み取ることができる。 ☆読書に親しむことができる。	☆進んで表現したり、理解しようとしている。  ☆進んで自分の考えを伝えたり、他人の考えを理解しようとしている。
評価の方法など	○定期テストの「漢字・語句」の部分 ○漢字小テスト ○聞き取りテスト ○硬筆・毛筆の作品	○定期テストの「読解」の部分 ○スピーチ ○音読 ○朗読 ○学習プリント ○課題作文 ○ノート	○授業中の様子 ○ノート ○発言 ○提出物・宿題 ○授業に対する取り組み方 ○ワークなどの点検

## 国語科の学習の仕方

### ◎授業で…

- ・ノートは黒板を写すだけでなく、疑問に思ったことや、感想なども書いておこう。
- ・ノートやワークシートはていねいな文字で読みやすく書こう。
- ・読み方のわからない漢字や意味のわからない語句は必ず辞書で調べよう。
- ・教科書をよく読んだり、しっかりと考えたりして自分の意見を持とう。
- ・自分の意見や考えを、進んで発表しよう。
- ・発表や音読は、クラスの人たちに聞こえるように大きな声ではっきりとしよう。
- ・人の話をしっかり聞いて、自分の考えの参考にしよう。
- ・課題をよく理解して、書いたり読んだりしよう。
- ・漢字学習は「とめる、はねる、つける、はらう」をしっかりと書けるようにしよう。

### ◎家庭学習で…

- ・新しい単元に入る前には教科書をしっかり読んでおこう。
- ・読み方のわからない漢字や意味のわからない語句は辞書で調べておこう。
- ・ワークや問題集を使って、復習に力を入れよう。
- ・毎日、新聞を読んで興味や関心を広げよう。

### ◎読書について…

- ・筆者のさまざまな「ものの見方・考え方」に触れるには、読書が一番です。文章を読むことに慣れるためにも読書をしましょう。
- ・授業で学習した作者の、別作品や関連作品を読むことも発展学習になります。

### ◎授業に必要なもの

- ・筆記用具
- ・教科書
- ・ノート（大学ノートを縦書きで使おう。）
- ・ファイル
- ・ワーク
- ・漢字の問題集
- ・国語便覧（資料集）
- ・国語辞典

# 社会科の学習方法

## ＜到達目標＞

- ① 広い視野で社会の様々な事柄を読み取ったり、理解したりするとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けること。
- ② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて選択・判断したりする力、そして、解決に向けて思考判断し、その根拠を基に議論する力を身につけること。
- ③ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図ることや他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を身につけること。

## ＜分野別目標＞

### 【地理】（1，2年）

地理的見方や考え方を培い、地域的特色をとらえ、地理的技能を身につけよう。

- ① どこに、どのようなものが、どのように広がっているのかを見いだす目を養う。
- ② なぜそこに、そのように分布しているのか。他の地域にも見られるのか。いつから見られるのか。これから先も見られるのか等を考える力を高める。
- ③ 地図や地球儀、写真、分布図、グラフや表などの活用ができ、その中から地域の情報を見つけ、地域的特色としてまとめることができる。また、そのまとめた情報を発信（表現・説明）する力を高める。

### 【歴史】（1，2，3年）

日本の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解しよう。

- ① 身近な地域の歴史や新聞、書籍、映像・写真、授業中示された諸資料などに関心を持つ。そして適切に収集・選択・活用し、課題を追究解決する。
- ② 各時代を代表する人物や文化遺産を学び、時代の特色を大きな流れの中で理解する。  
「なぜ、そのような歴史的出来事が起きたのか、その結果どのような影響を及ぼしたか。」  
「この歴史的出来事とその他の歴史的出来事の共通点と相違点は何か。」  
「この歴史的出来事が起きた頃、世界ではどのような歴史的出来事があったのか。」
- ③ 日本と世界との関わりに着目し、国際協調、平和維持の精神を持つ。

### 【公民】（3年）

現代社会に関心を持ち、課題を見つけ、課題解決のための資料を分析してまとめ、発信しよう。

- ① 「なぜ？の思考」から課題は生まれる。「どうやったら解決できるだろうか？」を考え、粘り強く取り組む態度を養う。
- ② 諸資料を様々な角度から分析・考察・発表したり、ノート・レポートにまとめる力をつける。  
（例）業績をあげた企業を調べ、なぜ業績を伸ばしたかまとめ、発表する。  
議院内閣制と生徒会のしくみを比較し、共通点と相違点を図式化し、発表する。  
地球環境の問題に対して「なぜ？」の課題を見つけ、環境問題解決のためのよりよい社会のあり方について考察し、発表する。
- ③ 国際協調・世界平和の実現のために、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。

## 社会科の学習計画

月	1 学年(地理)(歴史)	2 学年(地理)(歴史)	3 学年(歴史)(公民)
4	(地理) 世界の姿	(歴史) 近世の日本	(歴史) 二度の世界大戦と日本
5	日本の姿	(地理) 地域調査の手法	現代の日本と私たち
6	世界各地の人々の生活と環境 (歴史)	日本の地域的特色と地域区分	資料読解の強化演習 (公民)
7	歴史へのとびら	(地理)	現代社会と私たち
8	古代までの日本	日本の諸地域(1)	
9	資料読解の強化演習	資料読解の強化演習	個人の尊重と日本国憲法
10	(地理)		



11	世界の諸地域（1）	日本の諸地域（2）	現代の民主政治と社会
12	世界の諸地域（2）	地域の在り方	私たちの暮らしと経済
1	地域調査の手法 （歴史）	（歴史） 開国と近代日本の歩み	地球社会と私たち
2	中世の日本 （地理）		※テーマ別学習、ディベート、討論学習
3	日本の姿 地理レポート作成	※歴史レポート作成	

## 社会科の評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価の内容など	○定期テスト中の知識・学習した内容の理解度を問う問題 ○ワークシートへの記述内容による評価 ○資料を的確に読み取り、活用できているかの評価問題 ＜テスト＞	○レポート等作品の内容（資料の丸写しでなく自分なりの考察がある） ○課題解決学習時の発表の内容 ○思考判断を問う評価問題 ＜テスト＞	○単元のまとめや振り返り時のワークシートなどへの記述内容 ○課題解決学習における取り組み状況 ○ワーク、問題集、レポートの取り組み状況 ＜ワークシート＞

## 社会科の学習の仕方

- ①授業の約束を守る習慣をつけることがまず大事！  
2分前着席 忘れ物をしない 相手の話を真剣に聞く 提出物は期限を守る
- ②ノートやプリントにきちんとした文字でしっかりと書くこと！  
1年生は最低限黒板の内容を書くこと。2,3年生は友達や先生の言葉も書いてみよう。  
思考力・判断力の基となる知識・理解を身につける授業は、説明をしっかりと聞き、まとめることが基本です。向上心を持って臨みましょう。
- ③わからないことは、そのままにしないで！  
分からないことや疑問に思ったことは、そのままにしない。できれば自分で調べて、それでもできない場合は、先生や友達等に聞いて解決できるようにしていきましょう。
- ④予習・復習・テスト対策用に1冊別のノートを用意！  
自分でまとめることが1番理解度を上げます。特に予習復習はその日のうちにやるのが一番効果的ですが、それが無理なのであれば、週1回は学習内容をノートにまとめ直してみよう。テスト対策もそのノートを活用してやってみよう。
- ⑤自分のために、友達のために進んで発表！  
発表の多いクラスは、理解度が上がりテストの平均点も上がります。先生の言葉より自分で考えたことや友達の考えに触れた方が記憶に残ります。
- ⑥地図や年表に慣れよう！  
知らない地名が出たら地図を調べる習慣をつけたり、自分で地図や年表を書いてみよう。  
1年生は白地図や穴埋め年表を埋める作業から、2,3年生は自分で描ける力がほしい。
- ⑦社会科が面白くなる工夫をする、そして社会を知ろう！  
社会科が面白くなるよう工夫しよう。新聞記事やテレビのニュースや歴史マンガなどにたくさん触れたり、家族で話題として出したり、家族旅行で博物館や歴史資料館、遺跡を訪ねる等、社会の動きを知ることは学習が面白くなるだけでなく、自分が将来、社会の中で何をしたいか考える上でとても大切なことです。

# 数 学 科 の 学 習 方 法

## 数学科の目標

- 1年・具体的な場面を通して正の数と負の数について整理し、その四則計算ができるようにする。また、文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。(数と式)
- ・具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深める。(関数)
  - ・観察、操作や実験などの活動を通して、見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深める。また、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。(図形)
  - ・目的に応じてデータを収集し、コンピューターなどの情報手段を用いるなどして表やグラフに整理し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができるようにする。また、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができるようにする。(データの活用)
- 2年・文字を用いた式の四則計算ができるようにする。また、連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。(数と式)
- ・具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を養う。(関数)
  - ・観察、操作や実験などの活動を通して、基本的な平面図形の性質を見出し、さらに、図形の合同について理解し図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。(図形)
  - ・データの分布について、四分位範囲や箱ひげ図について理解し、それを用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができるようにする。また、多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率について理解し、それを用いて考察し表現することができるようにする。(データの活用)
- 3年・文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにする。また、二次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。(数と式)
- ・具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を高める。(関数)
  - ・図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばし、相似な図形の性質を用いて考察できるようにする。また、円周角と中心角の関係、三平方の定理を見出して理解し、それを用いて考察することができるようにする。(図形)
  - ・コンピューターを用いたりするなどして、母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解できるようにする。(データの活用)

## 数学科の学習計画

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	1章 正負の数	1章 式の計算	1章 多項式
6	2章 文字と式	2章 連立方程式	2章 平方根
8	3章 方程式	3章 1次関数	3章 2次方程式
10	4章 比例と反比例	4章 平行と合同	4章 関数 $y = ax^2$
	5章 平面図形		5章 相似な図形
1	6章 空間図形	5章 三角形と四角形	6章 円
		6章 確率	7章 三平方の定理
3	7章 データの分析と活用	7章 データの比較	8章 標本調査

## 数学科の評価の方法

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数や文字の計算ができる。</li> <li>○数量の関係を表や式、グラフを用いて的確に表現したり、処理したりできる。</li> <li>○数量・図形などに関する事柄の意味やそれを用いる意義を理解している。</li> <li>○基本的な図形の作図や面積等を求めることができ、図形の性質について、なぜそうなるのか等を道筋をたてて簡潔に表現できる。</li> <li>○数量また、図形の性質や関係、特徴を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見通しを持った考え方ができる。</li> <li>○ある事柄に潜む関係や法則、性質を見出すことができる。</li> <li>○様々な角度から問題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に問題を解決しようとしている。</li> <li>○授業で学んだことや興味を持ったことをさらに深めたり、追及したりする。</li> <li>○学習の経過をノート等に簡潔に工夫してまとめる。</li> <li>○望ましい学習態度がとれる。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○ノート・レポート等における記述</li> <li>○定期テスト</li> <li>○小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○ノート・レポート等における記述</li> <li>○定期テスト</li> <li>○小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○ノート・レポート等における記述</li> <li>○提出物（問題集）</li> <li>○忘れ物</li> </ul>
法	・授業で、基礎問題に取り組むことで、基礎学力の定着をはかる。		

## 数学科の学習の仕方

### ◎授業◎

数学という教科は、答えを求めるということだけが目的ではなく、その答えを導くための考え方を見出すことも大事な教科です。したがって、ただ単に「自分や他の人の求めた答えが正しいのか間違っているのか」ということだけにとらわれずに、なぜそうなるのかをきちんと説明できるようにすることも大切になります。みなさんが数学をしっかりと学び、身に付けるために、以下のことに注意して授業を受けていきましょう。

- ・問題解決まで、粘り強く考える。
- ・色々な方法で解決する。
- ・考え方をノートに簡潔に表現する。
- ・自分の考えと比較しながら聞く。
- ・自分と他の人との考えの違いや共通点、よさなどを見出し道筋立てて説明する。
- ・分からない部分をはっきりさせ、先生や友達に質問する。
- ・うまくいかなかったら、その原因を明らかにする。
- ・自分の考え方や方法の根拠や理由を道筋立てて説明する。
- ・他の人の考えに補足するなど、援助する発言をする。

### ◎家庭学習◎

- ・予習よりも復習を重点的に行いましょう。
- ・復習は次のようにするとよいでしょう。
  - ①ノートを見て、学習した内容を振り返る。
  - ②授業中にやった問題で、間違ったところをもう一度やってみる。
  - ③問題集を使い、いろいろな問題を解く。答え合わせをして、できなかった問題について解説書などを参考にし、間違いの原因をつかむ。

# 理科の学習方法

## 理科の目標

### 1分野【物理・化学】

- ◇ 身のまわりの物質や光・電流などに興味・関心を持ち、その変化やはたらきについて意欲的に調べる活動を行うなかで、きまりを見つけ、課題を解決する方法を身につける。
- ◇ 光・音・力・電流・運動のはたらきについての観察や実験の正しい方法を身につけ、結果を基に自分の考えをまとめ、表現する力を身につける。また、これらのことを科学的にみたり、考えたりすることができるようにする。
- ◇ 観察や実験、自分で調べる活動を通して、日常生活の中で起こっていることに関連させて考える態度を身につけながら、自然についてこれまでに学習した内容を使って考えることができるようにする。

### 2分野【生物・地学】

- ◇ 生物や自然現象などに興味・関心を持ち、疑問に思ったことについて意欲的に調べる活動を行うなかで、きまりを見つけ、課題を解決する方法を身につける。
- ◇ 植物や動物のつくりの特徴や、それらを含めた自然界の関係を調べる観察や実験の正しい方法を身につけ、結果を基に自分の考えをまとめ、表現する力を身につける。また、これらのことを科学的にみたり、考えたりすることができるようにする。
- ◇ 観察や実験、自分で調べる活動を通して、自然の調べ方を身につけ、環境を守り、生命を尊重する態度を育てる。また、自然について考えるとき、これまでに学習した内容を結びつけて考えることができるようにする。

## 理科の学習計画

単元の先頭の数字は、教科書の単元番号です

月	1学年	2学年	3学年
4	1 いろいろな生物とその共通点 (2分野)	1 化学変化と原子・分子 (1分野)	2 生命の連続性 (2分野)
5			
6	2 身のまわりの物質 (1分野)	2 生物の体のつくりとはたらき (2分野)	1 化学変化とイオン (1分野)
7			
8			
9	4 光・音・力 (1分野)	4 電気の世界 (1分野)	4 運動とエネルギー (1分野)
10			
11			
12	3 大地の成り立ちと変化 (2分野)	3 気象とその変化 (2分野)	3 地球と宇宙 (2分野)
1			
2			
3			5 自然環境や科学技術と私たちの未来 (1分野・2分野)

## 理科の評価の方法

	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・理解 観察・実験の技能
評価する内容	☆意欲的に観察・実験に取り組む。 ☆自分の考えをまとめようとする。 ☆話し合いや発表に積極的に取り組む。 ☆ノートなど工夫してまとめ、提出物を期限を守って出す。	☆課題解決の方法を考えることができる。 ☆観察・実験をする前に自分なりの予想を考えられる。 ☆観察・実験から得られた結果について筋道を立てて考察し、自分の考えを表現できる。	☆観察・実験を通して得られた原理・法則や基本的な知識を理解している。 ☆観察・実験を正しい方法で行うことができる。 ☆観察・実験のレポートをわかりやすくまとめることができる。
評価の方法等	○授業中の観察 ○ノート、レポート ○提出物 ○自由研究（夏休みの課題） ○自己評価	○授業中の観察 ○ノート、レポート ○ペーパーテスト	○授業中の観察 ○ノート、レポート ○ペーパーテスト ○パフォーマンステスト（実技テスト）

## 理科の学習の仕方

### ◎授業で…

理科は、自然から学ぶ教科です。まず、自然に親しみ、自然に積極的にはたらきかける（観察・実験をする）ことから始まります。「なぜだろう？」「どうしてだろう？」という疑問から、学習が進んでいきます。疑問を解決するための観察や実験を行うなかで、自然を科学的に調べる正しい方法を身につけ、得られた結果について自分なりの考えを導き出します。そして、考えを話し合い、確かめ合いながら、自然のきまりや知識を理解していくのです。物事をいろいろな角度から見て正しく理解する力と疑問を解決する力は、生きていく上で大切な力と言えます。その基礎となるのが、理科の学習なのです。授業を受ける上で大切にしてほしいことは、次の①～⑦です。

①常に疑問を持って（興味を持って）授業に臨む。 ②自分なりの考えを持つ。 ③知識だけでなく、観察・実験などの実技を身につける。 ④「話を聞く」「話し合う」「作業をする」「発表をする」などけじめをつけ、意欲的に授業を受ける。 ⑤ノートはていねいに書く。 ⑥観察・実験のレポートでは、結果や考えを誰から見ても分かるように記入する。 ⑦疑問が残ったら、質問する。

### ◎家庭学習で…

#### （1）復習を大切にしましょう

- ①その日のうちに学習した内容を教科書やノートで確認する。特に、観察・実験をした後は、レポートを完成させ、観察・実験の方法や結果・考察を見直しておきましょう。
- ②教科書を読み、重要語句などを理解しましょう。
- ③小単元が終わったら、ワークなどで理解できているかどうか確認してみましょう。（できなかった問題は、もう一度ノートや教科書で理解し直し、後日また解いてみましょう。）

#### （2）日頃から自然に興味・関心を持ちましょう

- ①書籍・テレビ・新聞などを積極的に見ましょう。疑問を持ったことを自分で調べましょう。
- ②夏休みには、課題を見つけて、自由研究に意欲的に取り組みましょう。

### ◎ノートの作り方

板書を写すことはもちろん、それ以上に、「自分の考え」「参考になる意見」「先生の説明」なども大切なので書きましょう。後で見てわかりやすいノートをつくるのが基本です。行間を詰めて書きすぎず、適当な余白や図・表を用いましょう。また、見開きで授業と復習のページをつくり、自分で調べたことをまとめましょう。

### ◎授業に必要なもの

教科書 ノート 資料集 …… これらを3点セットと言います。

\* 忘れ物は、授業へのやる気をなくします。絶対にしないようにしましょう。

\* 提出物（ノート・レポート・ワークなど）は、期限を守って必ず出しましょう。

# 音 楽 科 の 学 習 方 法

## 音楽科の目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」ことを目標としています。

### ♪ 1 学年の目標

- ◇音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- ◇多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を育てる。
- ◇多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

### ♪ 2・3 学年の目標

- ◇音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ◇多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- ◇多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## 音楽科の学習計画

※行事との関わりのため、多少の変更がある場合があります。

※学年が上がるごとに同じ分野でもステップアップします。

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	○オリエンテーション・校歌	○オリエンテーション・校歌	○オリエンテーション・校歌
5	○斉唱曲・混声合唱への導入	○混声三部合唱曲 ○イタリア歌曲	○日本歌曲
6	○アルトリコーダー	○鑑賞	○世界の音楽
7	○鑑賞 ○混声三部合唱曲	○創作	○創作 ○アルトリコーダー
8	○クラス曲	○クラス曲	○クラス曲
9			
10			
11	○鑑賞 ○創作	○鑑賞	○鑑賞
12	○アルトリコーダー	○アルトリコーダー	○日本の音楽
1	○日本の音楽、アジアの音楽 ○箏	○日本の音楽	○鍵盤楽器
2	○卒業式・三送会の合唱曲	○卒業式・三送会の合唱曲	○卒業式・三送会の合唱曲
3			

## 音楽科の評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音符の長さ、階名、記号の意味など楽譜を正しく読み取ることができる。</li> <li>○発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方などを身につけて歌うことができる。</li> <li>○楽器の奏法、呼吸法、姿勢や身体の使い方、読譜の仕方などを身につけて演奏することができる。</li> <li>○課題に沿った音の組み合わせ方、記譜の仕方を身につけて創作することができる。 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○諸要素の働きによって生み出される特質や雰囲気を感じ取ることができる。</li> <li>○音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取って、自分の思いや感じ取ったことを音楽要素と関連付けて鑑賞することができる。</li> <li>○思いや意図をもって曲にふさわしい表現を工夫することができる。</li> <li>○言葉で説明するなどして音楽のよさを味わって聴くことができる。 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音や音楽に関心をもち、主体的に活動に取り組むことができる。</li> <li>○音楽の楽しさを進んで味わうことができる。</li> <li>○リーダーとしてグループやパートをまとめることができる。</li> <li>○仲間と協力して活動に取り組むことができる。 等</li> </ul>
評価の方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○プリント</li> <li>○実技テスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○楽譜</li> <li>○実技テスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の観察</li> <li>○実技テスト</li> <li>○プリント</li> <li>○忘れ物、提出物</li> <li>○定期テスト</li> </ul>
	十分満足できる・・・A	おおむね満足できる・・・B	努力を要する・・・C

## 音楽科の学習の仕方

中学校の3年間は、身体も心も大きく成長する時期です。この時期に美しい音楽に触れ、感性を豊かにし、仲間と共に音楽を奏でる楽しさを味わうことはとても大切なことです。積極的に活動に取り組み、音楽の良さに感動する体験を増やしましょう。

### ◇授業で・・・

授業では仲間と一緒にやる音楽活動が多いです。協力しながら音楽を創りあげる喜びをたくさん味わいましょう。毎回の授業に集中して臨み、心や頭や体をたっぷり使って音楽を体いっぱい感じてください。歌うときや楽器を演奏するときにはのびのびと、堂々と自分を表現してください。音楽を聴くときは耳をすまして、その音楽の良さを味わってください。美しいものに触れ、心はどんどん豊かになっていきます。

#### 〈音楽の授業の心構え〉

- ①素直な気持ちで感じる心を持つ。
- ②一生懸命取り組む仲間を応援する気持ちを持つ。
- ③自分の考えやイメージを持って練習し、音楽を創り上げる喜びを味わおう。
- ④仲間と協力して取り組み、切磋琢磨しながらお互い高め合おう。
- ⑤耳をよく使って美しい音を聴き分けよう。

### ◇家庭で・・・

学校ではなかなか生演奏を聴くことはできません。CD などでは味わえない生演奏のすばらしさを体験する機会をつくりましょう。また、生演奏ではなくても、CD やテレビ、パソコン、ラジオ等で様々なジャンルの音楽を聴くことができます。生活の中に上手に音楽を取り入れ、暮らしを潤いのあるものにしていきましょう。

### ◇授業で必要なもの

教科書・合唱曲集・アルトリコーダー・ファイル

# 美術科の学習方法

## 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

### 1年

- ◇対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ◇自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ◇楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かに生活を創造していく態度を養う。

### 2・3年

- ◇対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ◇自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ◇主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かに生活を創造していく態度を養う。

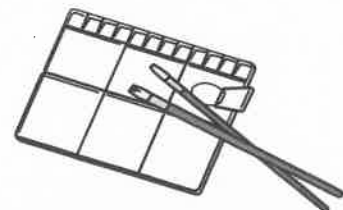
## 美術科の学習計画

	1学年	2学年	3学年
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・心ひかれる風景・写生会（絵・彫刻）</li> <li>・形と色のメッセージ（デザイン・工芸）</li> <li>・伊藤若冲の世界（鑑賞）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・風景が語るもの・写生会（絵・彫刻）</li> <li>・形と色で織りなすイメージ（絵・彫刻）</li> <li>・ルネサンス（鑑賞）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・風景が語るもの・写生会（絵・彫刻）</li> <li>・祈りの造形（鑑賞）</li> <li>・水墨画（絵・彫刻）</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴマークで印象付ける（デザイン・工芸）</li> <li>・人の姿・動き（絵・彫刻）</li> <li>・木を暮らしに生かす（デザイン・工芸）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明りの形（デザイン・工芸）</li> <li>・浮世絵・庶民の楽しみ（鑑賞）</li> <li>・自分と向き合う（絵・彫刻）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木でつくる遊びの形（デザイン・工芸）</li> <li>・生活に生きる伝統工芸（鑑賞）</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写し取る形（デザイン・工芸）</li> <li>・私にとってつくること（鑑賞）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクトグラムとサイン計画（デザイン・工芸）</li> <li>・漫画の試み（デザイン・工芸）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刻（デザイン・工芸）</li> <li>・私たちの社会と美術（鑑賞）</li> </ul>



## 美術科の評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	造形的な視点を理解しながら、表現方法を創意工夫し、作品を創造的に具現化している。	試行錯誤の末に主題を見極め、豊かな発想とともに構想を練り上げることができる。また美術や文化に対しての見方や認識を深めることができる。	創造活動の喜びを味わい、自ら主体的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法など	<p>評価する内容、3つの観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）の達成度で評価します。</p> <p>* 評価資料            授業で制作した作品（途中も含む）、制作の記録、振り返りの記録など。            取組や活動の様子。            期末テスト</p> <p>* 評価方法            学習の目標への達成度            資料から総合的に判断し、評価します。</p> <p>* 評定について            観点の項目ごとに、それぞれABCで行う。（十分満たしているA：おおむね満たしているB：努力を要するC）そして、観点の評価の総合判定により評定をつける。（十分満たしているもののうち、特に程度が高い5：十分満たしている4：おおむね満たしている3：努力を要する2：いっそう努力を要する1）</p>		



## 美術科の学習の仕方

美術の学習は、様々な形や色彩などの造形と、想像や心、精神、感情などの心の働きとが、造形の要素を介して行き来しながら深められます。美術の授業中はもちろん、生活の中で造形的な視点をもって様々なもののよさや美しさを感じ取ったり、形や色彩などによるコミュニケーションを通して多様な文化や考え方に接して思いを巡らせたりしましょう。

### ◎授業で…

- ・創造活動を楽しみ、自ら進んで学習すること。
- ・表現方法を工夫すること。（これまでの学習を生かし、新たな表現に挑戦する。）
- ・主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ること。（色と形の効果を考え、試行錯誤する。）
- ・作品のよさや美しさを感じ取ること。（自他の作品の見方や感じ方を深める。）

### ◎日常で…

- ・余暇に絵をかいたり、自分の作品を家に飾ったりする。
- ・他教科の学習におけるレポートなどを、分かりやすさや美しさを考えてデザインする。
- ・心動かされることや美しさを感じ取ったり、写真に残したりする。
- ・美術館や展覧会等へ観覧に行き、文化としての美術（芸術）を学ぶ。

### ◎授業時数について…

- ・各学年とも週に1時間です。
- ・1学年後期は隔週で2時間の授業があります。（週1.5時間）

### ◎授業に必要なもの<美術バッグ>

- ・教科書・筆記用具（鉛筆・消しゴム）
- ・クロッキー帳・アクリルガッシュセット（ぞうきん・筆洗器）
- ・画板（写生会の時のみ）

その他、題材により必要な材料など



# 保健体育科の学習方法

## 保健体育科の目標

- 運動の楽しさ、喜びを味わい、自主的・主体的に学習に取り組む生徒の育成
- 健康の保持増進に努め、各自の体力向上を目指す生徒の育成
  - (1)進んで運動に親しみ心身を鍛えよう。
  - (2)運動の特性に触れ、楽しさや喜びを味わおう。
  - (3)自らの課題を見つけ、考え、判断して行動しよう。
  - (4)マナーを守り、礼儀正しく、安全に活動しよう。

### 【1年生の重点目標】

礼儀正しくマナーを守る態度を育成し、自らの体力を向上させる。

### 【2年生の重点目標】

体力や運動技能の向上を目指し、自己の能力に応じた課題をもって活動する。

### 【3年生の重点目標】

運動について分析し、運動の仕方や学び方について主体的に考えて、運動技能や体力の向上させる。

## 保健体育科の学習計画

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	○体育に関する知識 ○体づくり運動	○体育に関する知識 ○体づくり運動	○体育に関する知識 ○体づくり運動
5	○陸上競技 短距離走・リレー 長距離走	○陸上競技 短距離走・リレー 長距離走	○陸上競技 短距離・リレー 長距離走
6	○器械運動 マット運動 跳び箱運動	○器械運動 マット運動 跳び箱運動	○器械運動 マット運動 跳び箱運動
7	○保健	○保健	陸上競技 ハードル走 (1 選択)
8			
9	○水泳 クロール・平泳ぎ	○陸上競技 走り幅跳び ハードル走	○保健 ○球技Ⅰ ソフトボール バレーボール
10	○球技Ⅰ バレーボール ソフトボール	○球技Ⅰ バレーボール ソフトボール	武道 柔道 (1 選択)
11	○武道・ダンス	○武道・ダンス	○球技Ⅱ バドミントン 卓球 ソフトテニス (1 選択)
12		○保健	
1	○球技Ⅱ サッカー バスケットボール	○水泳 クロール・平泳ぎ	○保健 ○球技Ⅲ サッカー バスケットボール (1 選択)
2	○保健	球技Ⅱ サッカー バスケットボール	
3			

## 保健体育科の評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	(1)技能の習得 (2)特性や基礎的知識の理解 (3)ルールを理解 (4)知識の活用	(1)学習計画 (2)課題設定・解決方法 (3)学習カード・資料の活用 (4)活動(練習)方法の工夫	(1)学習意欲・服装 (2)マナー・準備・片づけ (3)協力・教え合い (4)向上心・努力
評価の方法など	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した課題を達成できることができる。</li> <li>既習の技能から新しい技能が身についている。</li> <li>特性や基礎的な内容を理解している。</li> <li>ルールを理解し、進んで審判や測定ができる。</li> <li>実技テスト、定期テストの結果。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の見通しをもって、練習計画を立てることができる。</li> <li>自己やチーム等の課題を見つけ、解決のために練習方法を工夫できる。</li> <li>学習カードや資料を適切に活用している。</li> <li>自己評価、相互評価を適切にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>服装を整え、授業開始時刻を守る。</li> <li>マナーを守り、安全に効率よく行動する。</li> <li>準備、片づけを進んでできる。</li> <li>仲間と協力し、声かけや教え合いができる。</li> <li>課題を解決するために努力できる。</li> <li>運動を楽しんでいる。</li> </ul>

## 保健体育科の学習の仕方

### ○授業について

#### (1)体育

- 体育は、自分にあった課題を見つけその解決のために練習方法を考えたり、作戦を立てたりしながら技能や体力の向上を目指す教科です。運動をする上でのルールやマナーを守りながら仲間と協力して意欲的に活動するようにしましょう。
- 水泳は、スイミングスクールの施設を使用しての授業になります。
- 3学年は、選択制の授業があります。いくつかの種目から選んで学習します。
  - 器械運動(マット運動・跳び箱運動)、陸上競技(ハードル走)の3種目より1種目選択
  - 球技Ⅰ(ソフトボール・バレーボール)、武道(柔道)の3種目より1種目選択
  - 球技Ⅱ(バドミントン・卓球・ソフトテニス)の3種目より1種目選択
  - 球技Ⅲ(サッカー・バスケットボール)の2種目より1種目選択

#### (2)保健

- 3年間にわたり学習します。
  - 1年生：調和のとれた生活 心身の発達と心の健康
  - 2年生：生活習慣の健康への影響 けがの防止と応急手当
  - 3年生：感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 環境の健康への影響

### ○学習カード・資料の活用

- 単元ごとに学習カードを使用します。毎時間の活動の自己評価や感想などを記録します。しっかり記入して、提出できるようにしましょう。また、基本技能の解説の資料、副読本などを有効に活用して学習を進められるようにしましょう。

### ○授業で必要なもの

- 体育授業では、体育着、ハーフパンツ、ジャージを用意し、記名を忘れずにして下さい。その他、ファイル・実技資料(学校より配布)・筆記用具は、常に持って授業に臨みましょう。
- 水着、柔道着を使用します。
- 保健の授業では、教科書・ワークシートを使って学習します。

### ○選択種目の選び方

- 種目を選択する授業がありますが、選択する際、自分が興味・関心のある種目を選んで下さい。自主的・主体的に活動するためにも大切なことです。

# 技術・家庭科の学習方法

## 技術・家庭科の目標

「生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。」

## 技術分野の目標

「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。」

- A:材料と加工の技術…身の回りの製品はどのような材料で、どのように設計され、つくられているか考えてみましょう。  
 B:生物育成の技術……生活を支える生物や作物がどのように生産・管理されているのか考えていきましょう。  
 C:エネルギー変換の技術…エネルギーはどうやって生み出されるのか、最適な扱い方について考えていきましょう。  
 D:情報の技術……日頃当たり前に扱う情報の基本や、これからの社会における扱い方を考えてみましょう。
- 授業では、基礎的な知識を学び、身近な生活の課題についてみんなで考え、実験や実習によってそれを確かめたり、実践したりします。そして、身につけた力を実際の生活の中で生かしていくことが大切です。○課題に意欲的に取り組もう ○自分の考えを持って、積極的に発表しよう ○仲間の発表に耳を傾けよい考えから学ぼう ○メモをとろう ○疑問に思ったことは、積極的に質問したり、自分で調べてみよう

## 技術分野の学習計画

1 学年	2 学年	3 学年
<通年> 4月～3月	<通年> 4月～3月	<通年> 4月～3月
<p>○ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術ではどんな学びをするか、3年間を見通して学習する。</li> </ul> <p>○A 材料と加工の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ものづくりの工夫と進め方</li> <li>・身の回りにある製品について</li> <li>・身の回りにある材料について</li> <li>・ものづくりの進め方</li> <li>◆製作品の構想</li> <li>・生活に役立つものの構想</li> <li>・構想図の書き方</li> <li>・設計、仕様の検討、製作図</li> <li>◆製作</li> <li>・材料選択、材料表、切断</li> <li>・組み立て、仕上げ</li> <li>・自己評価、他者評価、反省</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・材料と加工の技術の適切な評価と今後の利用について</li> </ul> <p>○B 生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活と関わる生物育成</li> <li>・生物育成とは</li> <li>・生物育成のサイクル</li> <li>◆作物の栽培</li> <li>・栽培ごよみ、環境要因</li> <li>・栽培に関する基礎知識</li> <li>・栽培計画の作成</li> <li>・作物の栽培、管理、収穫</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・生物育成の技術の適切な評価と今後の利用について</li> </ul> <p>★夏休みの課題：一人一作品</p>	<p>○C エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆身の回りのエネルギー</li> <li>・エネルギー変換、変換効率</li> <li>・エネルギー資源の利用</li> <li>・電気エネルギーの利用</li> <li>・電気エネルギーと安全</li> <li>◆動力伝達の仕組み</li> <li>・動力伝達の基本的な仕組み</li> <li>・運動エネルギーへの変換と利用</li> <li>・回転運動を伝える仕組み</li> <li>・機械が動く仕組み</li> <li>・エネルギー変換の技術を用いた製品の設計、製作、工夫、改良</li> <li>◆技術の評価と活用</li> <li>・エネルギー変換の技術の最適化</li> <li>・これからのエネルギー変換の技術</li> </ul> <p>○D 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報とわたしたちの生活</li> <li>・情報の技術とは</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組み</li> <li>・情報のデジタル化</li> <li>・情報セキュリティ</li> <li>・安全に利用するための情報モラル</li> <li>・双方向性のあるコンテンツとは</li> <li>・コンテンツのプログラミングの制作</li> <li>・課題解決の評価、改善、修正</li> </ul> <p>★夏休みの課題：一人一作品</p>	<p>○D 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆プログラムによる計測・制御</li> <li>・生活の中にある計測・制御</li> <li>・計測・制御システムとは</li> <li>・問題の発見、課題の設定</li> <li>・計測・制御システムの構想</li> <li>・計測・制御システムのプログラム制作</li> <li>・問題解決の評価、改善・修正</li> <li>・情報の技術の最適化</li> <li>・これからの情報の技術</li> </ul> <p>○技術分野の学習を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsと技術のかかわり</li> <li>・学んだことを社会に活かす</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>1・2年生は夏休みの宿題で「発明創意くふう展」へ出品を出します。日頃から様々な技術に目を向けて生活していきましょう。※3年は有志</p> </div>

## 技術分野の評価方法

評価する内容	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活の工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・発言</li> <li>・授業の準備</li> <li>・提出物</li> <li>・実習、作品</li> <li>・実習記録、自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・課題</li> <li>・実技</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・課題</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技、発表</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> </ul>

## 技術分野の学習の仕方

技術分野は、日常の生活を豊かにするための学習です。ただ、知識を暗記するのではなく、自分で課題を発見し、身体も使って実践してみたり、人とかかわりながら学び、それを生活に生かしていきましょう。

「課題をもって、生活を豊かに創造していく力を身につけるために」

### 生活をつつめ問題をつつけよう

- ・知りたい・工夫したい・やってみたい・なぜだろう・どうしたらよいだろう

### 行動しながら調べてみよう(フィールドワークをしよう)

- ・話を聞く・訪問して調べる・教科書や本なども調べよう
- ・図書館、新聞、インターネットなども利用しよう

### やってみよう・つくってみよう

- ・計画を立て、用具、材料を用意して実行する

### 考えをまとめて発表しよう(交流し合おう)

- ・友人と交流する・自分の考えを形にする・教室以外の場所(新聞など)で発表する
- ・調べたことや実行したことを、伝えたり、発表する

### 生活をつつめ問題をつつけ、解決しよう

- ・学習したことを生かして、課題を発見し、解決を目指す

## <技術で>

技術の授業は1・2年生のとき、2時間続きで授業を行う時もあります。毎回の出席を目指しましょう。安全第一で積極的に授業に参加し、実践を通して、得たもので日々の生活も豊かにしていきましょう。

## <授業の用意>

- 教科書 ○ファイル ○技・家ノート 3点セットは3年間使用します。
- 筆記用具 ○メモリがはっきりした定規

## <服装>

- 木工室・金工室 → ジャージ ○教室・PCルーム → ジャージ



## 家庭科の評価の方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活の工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・発表</li> <li>・授業の準備</li> <li>・提出物</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実習、作品</li> <li>・実習記録、自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・発表</li> <li>・課題・提出物</li> <li>・実技</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の観察</li> <li>・課題・提出物</li> <li>・定期テスト</li> <li>・実技、発表</li> <li>・実習、作品</li> <li>・学習プリント</li> <li>・実践レポート</li> </ul>

## 家庭科の学習の仕方

家庭分野は、日常の生活を豊かにするための学習です。ただ、知識を暗記するのではなく、自分で問題をみつけ、実践したり、人とかがわりながら学び、それを生活に生かしていきましょう。

ものや人とかがわりながら学ぼう

「課題をもって、生活を豊かに創造していく力を身につけるために」

生活をもつめ問題をみつけよう

・知りたい・工夫したい・やってみたい・なぜだろう・どうしたらよいだろう



行動しながら調べてみよう（フィールドワークをしよう）

・話を聞く・訪問して調べる  
・教科書や本なども調べよう・図書館、新聞、インターネットなども利用しよう



やってみよう・つくってみよう

・計画を立て、用具、材料を用意して実行する



考えをまとめて発表しよう（交流し合おう）

・友人と交流する・自分の考えを形にする・教室以外の場所（新聞など）で発表する  
・調べたことや実行したことを、伝えたり、発表したりする



生活に生かそう

・学習したことを日々の生活に生かす

<家庭で>

授業で知ったこと、学んだことを実際の生活の中で生かし、実践していこう。今までは家族の方にやって頂いたことなかで、授業を通してできるようになったことを一つずつ実践していこう。そうすることにより自分自身の自立への一歩となります。そして、家族の一員として家庭生活を支える役割を果たすことができます。（実践レポートを提出しよう）

<授業の用意>

教科書・ワークノート・ファイル

<被服実習に必要なもの>

裁縫用具

<調理実習に必要なもの>

エプロン・三角巾（バンダナなど）・ふきん（各自2枚）・マスク

# 英語科の学習方法

## 英語科の目標

- 1 聞くこと
  - ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
  - イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
  - ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
- 2 読むこと
  - ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
  - イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
  - ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
- 3 話すこと  
〔やり取り〕
  - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
  - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
  - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
- 4 話すこと  
〔発表〕
  - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
  - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
  - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- 5 書くこと
  - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
  - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
  - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

## 英語科の学習計画

月	1年	2年	3年
4	Get Ready アルファベットを確かめよう 辞書を引いてみよう	辞書を読んでみよう Start of a New School Year	辞書を使いこなそう Bentos Are Interesting! 家の中と外
5	友達を作ろう 数の言い方 1-B の生徒たち	情報をつながけながらメモをとろう Leave Only Footprints 天気予報を聞こう 電話をかけよう スープの材料	デイバートをしよう Good Night. Sleep Tight.
6	曜日と天気の言い方 英語でやりとりしよう① アクションコーナー タレントショーを開こう	Taste of Culture 文章の構成を考えよう 「夢の旅行」を企画しよう	道案内をしよう②(電車の乗りかえ) A Hot Sport Today メモのとり方を学ぼう 記者会見を開こう
7	考えを整理し、表現しよう あなたの知らない私 ハンバーガーショップへ行こう Let's Enjoy Japanese Culture.	Gon, the Little Fox いろいろな形容詞	Faithful Elephants 不用品を交換しよう Sign Languages, Not Just Gestures!
8	持ち主をたずねよう		ホームページで学校を紹介しよう
9	The Junior Safety Patrol 季節・月の名前	High-Tech Nature 楽器の名前	かんたんな表現で言いかえよう The Story of Chocolate
10	The Way to School 道案内をしよう①(駅ビル) 店内放送を聞こう 曜日・日付の言い方	Work Experience レストランで食事をしよう	わかりやすい文章を考えよう 動詞の使い分け The Great Pacific Garbage Patch



11	Research on Australia 話の組み立て方を考えよう 英語でやりとりしよう② 疑問詞のまとめ	Live Life in True Harmony 対話をつなげ、深めよう こんな人になりたい	ディスカッションをしよう あなたの町を世界にPRしよう 非常時のアナウンスを聞こう
12	この人を知っていますか インタビューを聞こう The Year-End Events 絵や写真を英語で表現しよう	Friendship beyond Time and Borders 色々な前置詞	Is AI a Friend or an Enemy? Malala's Voice for the Future
1	The Trip to Finland 文の内容を整理し、表現しよう	A Gateway to Japan 相手に分かりやすい説明をしよう	中学校の思い出を残そう オリンピック競技・パラリンピック競技
2	Grand Baba's Warming Ideas! 英語でやりとりしよう③	空港アナウンスを聞こう A Hope for Lasting Peace 説得力のある主張をしよう メールで近況報告をしよう	The Ig Novel Prize Library Lion
3	私が選んだ1枚 絵はがきを書こう	この1年で得た「宝もの」 町の風景 Visas of Hope	

### 英語科の評価の方法

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な課題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。
評価の方法	・パフォーマンステスト ・ワークシート ・活動観察 ・ペーパーテスト ・小テスト	・パフォーマンステスト ・ワークシート ・活動観察 ・ペーパーテスト	・パフォーマンステスト ・ワークシート ・振り返りカード ・ノート、ワークブック ・活動観察

### 英語科の学習の仕方

#### ◎授業

- ・英語科の目標に照らし合わせながら、英語を「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の力をバランスよく付けて行きます。
- ・英語を使った言語活動を繰り返し行い、自分の持っている知識・技能を活用し、思考、判断をしながら表現していきます。
- ・ALTとの授業も実施します。言語は間違えることで、学んでいきます。間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図りましょう。

#### ◎家庭学習（授業で学習したことを身につけるために、特に復習は大切にしましょう。）

- ・教科書の音読や単語練習を毎日続けることをおすすめします。
- ・学校で配布されたプリントはファイルに保存し、活用しましょう。
- ・ラジオやテレビの英語番組を見たり、授業以外でも、英語に触れる機会を増やすことをおすすめします。

- ◎授業に必要なもの ・教科書 ・ワーク等の補助教材(学校で配布) ・ノート ・ファイル  
※教科担当から年度当初の授業で指示があります。

### 英語弁論大会

- ・1学期に校内オーディション(弁論・暗唱の部門それぞれで出場)を実施します。9月頃に行われる桶川・伊奈中学校英語弁論暗唱大会に出場しています。

### 英語検定

- ・年に3回実施されているので、3年間を見通して、積極的に受検することをおすすめします。